



力合わせて災害防ぐ 16区自主防災会発足

「平泉町第16区自主防災会」が3月7日、16区住民によって立ち上げられました。町内での同組織結成は13組織目となりました。

同日、16区公民館で開かれた結成総会には、住民と消防関係者、合わせて50人余りが出席しました。会長に結成準備委員会委員長を務めた瀧澤利吉区長を選出し、同準備委員会が作成した規約や活動計画、予算、組織編成などを原案通り可決しました。

おひなさまに扮し笑顔 16区のふれあいサロン

第25回16区ふれあいサロン（代表・瀧澤利吉区長）が3月8日、16区公民館で開かれました。お年寄りら43人が、ひなまつりにちなんでお内裏さまとおひなさまに扮し、明るい笑顔を振りまきました。

ふれあいサロンはお年寄りの交流の場で、各行政区の公民館などで開かれています。16区では開催25回の節目を記念し、住民ボランティアがかつらや冠などを手作りして催しの準備を進めました。お年寄りは「またこのような楽しい思いができるように長生きしたい」と喜んでいました。



礼儀作法の本質学ぶ 日常生活マナー講座

町地域婦人団体協議会が主催する「日常生活マナー講座」が2月25日、保健センターで開かれました。

正しい意志伝達を学び、人間関係や地域活動の質を高めるのがねらい。約50人の参加者は、現代礼法研究所マナーデザイナー熊澤厚子さんの講演を通して、礼儀作法への理解を深めていました。



人形を使い応急手当て学ぶ 消防団らが普通救命講習会

応急手当ての普及啓発を図る普通救命講習会が3月7日、町消防団、町婦人消防協力隊を対象に町消防コミュニティセンターで開かれました。

約30人が参加。一関西消防署平泉分署員の指導の下、訓練用の人形を使いながら気道の確保や人工呼吸、AEDの使用方法などを学びました。

政権の特質や意義は一 第10回世界遺産講演会

第10回世界遺産講演会、20年度町内遺跡発掘調査報告会が3月7日、ホテル武蔵坊で開かれました。

世界遺産講演会では、平泉の文化遺産世界遺産登録推薦書作成委員会委員長の工藤雅樹福島大名誉教授が「平泉藤原氏の歴史的意義」と題して講演。奥州藤原氏が、砂金や馬など北海道を含む北日本の産物を朝廷に献上しながら、日本史上唯一の辺境地方政権を築いたことなどについて説明しました。

引き続き開かれた町内遺跡発掘調査報告会では、町文化財センターが20年度に実施した花立遺跡、無量光院跡、中尊寺跡、志羅山遺跡の調査結果について発表しました。



条例案を大筋了承 町景観形成審議会

町景観形成審議会の第3回会議が3月23日、町役場で開かれました。

委員8人が出席。21年度の制定を目指し町が示した屋外広告物条例案について最終審議し、世界遺産候補地のコアゾーンに当たる歴史景観地区での電柱広告の原則禁止、経過措置の短縮などを求めた上で、同案の方針をおおむね了承しました。

町はより良い景観形成実現に向け、同案の課題を整理していきます。



町内を楽しく巡る 平泉クイズラリー

平泉クイズラリー（JR盛岡支社主催）が3月15日、旧観自在王院庭園を発着点に行われました。県内外から約500人が参加。史跡地など6カ所のチェックポイントを巡りながら、ウォーキングと歴史クイズを楽しみました。全問正解者には抽選で「びゅう商品券」などの賞品が贈られました。



魅力と改善点考える 町民らが「まち探検」

平泉の魅力を見直す「平泉まち探検」（古都ひらいずみガイドの会が主催）が3月21日、町内の史跡などで行われました。

町民ら約20人が参加。松尾芭蕉が歩いた経路をたどりながら、まちの魅力や改善点などについて認識を深めていました。